

共催・協賛・後援等申請書

2016年 12月 19日

公益社団法人 日本分光学会
会長 佐々田 博之 殿

主催者 日本学術振興会
光エレクトロニクス第 130 委員会
申請者 宮本 智之
住所 〒226-8503 横浜市緑区長津田町4259-R2-39
TEL/FAX +81-45-924-5059
E-mail tmiyamot@pi.titech.ac.jp

(公益社団法人 日本分光学会の人的・経済的負担はありません)

1. 会合名

第1回『光の日』合同シンポジウム

2. 主催団体

日本学術振興会光エレクトロニクス第 130 委員会

3. 開催日時

平成 29 年 3 月 8 日 (水) 13:00-17:20

4. 開催場所 (会場名) (住所)

筑波大学東京キャンパス文京校舎 1 階 134 講義室
〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1

5. 会合の内容 (テーマ、概要等)

光は、医療、エネルギー、情報、通信、一次産業、天文、建築等に関わるあらゆる科学技術に応用され、また、人類の幸福や芸術、文化などの発展に貢献していることから、国連は 2015 年を「国際光年」と制定し、光科学技術の普及・啓蒙に努める期間として盛り上がりました。このような光科学技術の継続的な振興を図ることの重要性は、光に携わる研究者の共通の認識となっています。そこで、学振 130 委員会が 2007 年より光速 (約 $3 \times 10^8 \text{m/s}$) にちなんで 3 月 8 日を『光の日』と定めて活動してきたことを踏まえ、光関連学会が毎年この日に合同記念イベントを行うことを提案し、この度、第 1 回目シンポジウムを開催することとなりました。なお、第 1 回目は準備の都合から国内的催しとしますが、将来的には『光の日』を国際的な記念日として催しを行うよう発展させていきたいと考えています。

6. 詳細問い合わせ先

担当者名 : 宮本 智之
所属 : 東京工業大学未来産業技術研究所
Tel /Fax : 045-924-5059
E-mail : tmiyamot@pi.titech.ac.jp

7. 協賛・後援団体名（代表的な2～3団体）

照明学会
日本レーザー医学会
日本レーザー歯学会
応物光波センシング技術研究会

8. 申請事項（いずれかを○で囲んでください）

共催 協賛 後援 その他（ ）

9. 共催・協賛・後援の前例

あり（ 年頃） なし

10. 参加申し込み締め切り

11. 参加費

12. 「分光学会ウェブページ」への掲載、メーリングリスト（ML）配信希望の有無

・「ウェブページ」 希望する 希望しない

・「ML 配信」 希望する 希望しない

* 但し、ML 配信については当学会の広報委員会での審査があり、ご希望に沿えない場合がありますのでご了承ください。

* 「ウェブページ」への掲載は、申請後3週間程度をご予定下さい。

13. ウェブページ掲載/M1 配信内容:1,000 字以内 (M1 配信を希望される場合は、その文案を記載ください。)

第 1 回『光の日』合同シンポジウム 開催案内

Web : <https://annex.jsap.or.jp/photonics/lightday-2017>

日時 : 平成 29 年 3 月 8 日 (水) 13:00-17:20

会場 : 筑波大東京キャンパス文京校舎 134 講義室 (丸ノ内線茗荷谷駅下車徒歩 5 分),
http://www.tsukuba.ac.jp/access/bunkyo_access.html

趣旨 : 光は、医療、エネルギー、情報、通信、一次産業、天文、建築等に関わるあらゆる科学技術に応用され、また、人類の幸福や芸術、文化などの発展に貢献していることから、国連は 2015 年を「国際光年」と制定し、光科学技術の普及・啓蒙に努める期間として盛り上がりました。このような光科学技術の継続的な振興を図ることの重要性は、光に携わる研究者の共通の認識となっています。そこで、学振 130 委員会が 2007 年より光速 (約 $3 \times 10^8 \text{m/s}$) にちなんで 3 月 8 日を『光の日』と定めて活動してきたことを踏まえ、光関連学会が毎年この日に合同記念イベントを行うことを提案し、この度、第 1 回目シンポジウムを開催することとなりました。なお、第 1 回目は準備の都合から国内的催しとしますが、将来的には『光の日』を国際的な記念日として催しを行うよう発展させていきたいと考えています。

講演 :

- ・『光の日』制定について : フォトンの不思議と恩恵, 小林駿介 (山口東京理科大)
- ・南極で切り開く天文学—南極望遠鏡計画—, 中井直正 (筑波大)
- ・光コムによる光波の超精密制御とその応用, 美濃島薫 (電通大, JST, ERATO)
- ・X 線自由電子レーザー(XFEL)施設「SACLA(さくら)」, 石川哲也 (理所)
- ・光の顕微鏡 : 収差と波長の壁を超えて, 河田聡 (阪大, 理研)
- ・量子ドットがもたらす光技術の新展開, 荒川泰彦 (東大)
- ・光の日, 音の日 : 光エレクトロニクスの玉手箱より, 伊賀健一 (東工大)
- ・意見交換会 (17:30 より, 茗溪会館予定)

参加費 : シンポ : 無料 (web 申込. 220 名 \times 切. 当日も受付予定.), 意見交換会 : 2 千円 (web 申込)

主催 : 日本光学会, 学振第 130 委員会, レーザー学会, 応用物理学会フォトンクス分科会

共催 : 筑波大

協賛 : 日本分光学会, 他, 光関連の各学会等へ依頼中